

平成30年度

奈良県学力向上フォーラム

御所市 夢・誇り・学びプラン

～市教委と学校で協働的に学力向上に取り組む～



御所市教育委員会事務局学校教育課

辻内 保志

平成31年2月15日

平成29年度より

○御所市 夢・誇り・学びプランを実施

プランの5つの視点

- ①育みたい四つの力の明確化と向上
- ②学力の全体的な向上と低学力層の減少を目標に
- ③指標を作成することで、成果・課題の検証を行い、改善につなげる
- ④市教委が実施する学力向上に関する総合的な事業
- ⑤市教委の事業等を活用した市内各小・中学校の学力向上の取組

育みたい四つの力とは

学ぶ力

意欲的に学び続ける力

切り拓く力

目標をもち、未来に向かって努力する力

夢・誇り・学び

関わる力

他者や社会に積極的に
関わり、つながる力

自律する力

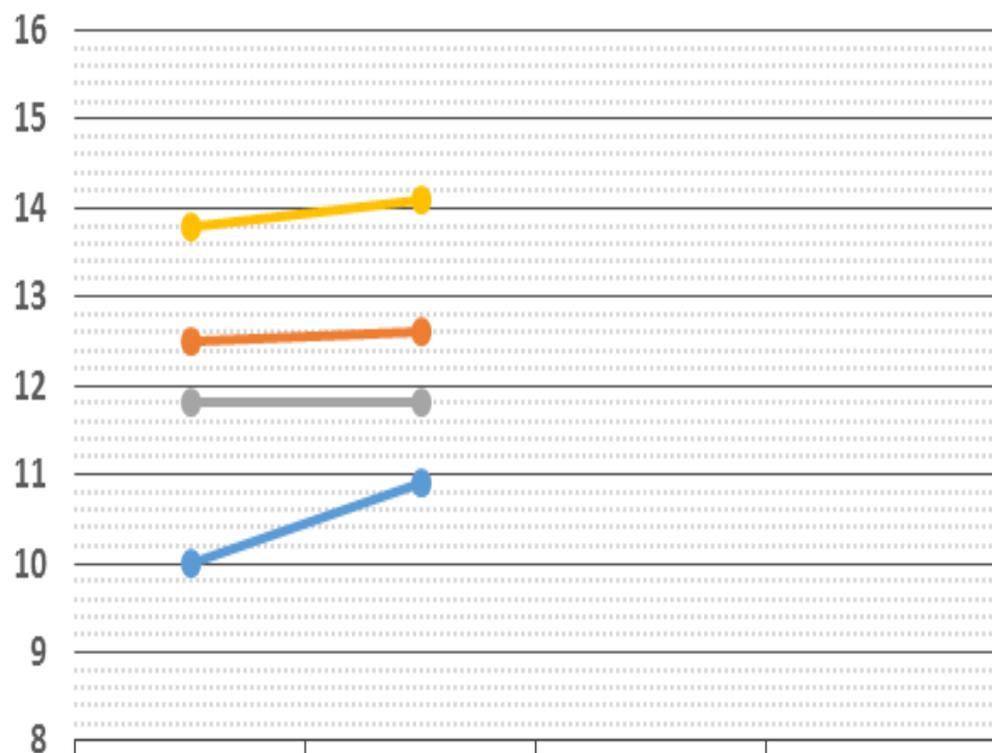
規範意識をもち、自分
をコントロールする力

指標①「四つの力を総合的に育成する」

● 四つの力（全国学力・学習状況調査より）

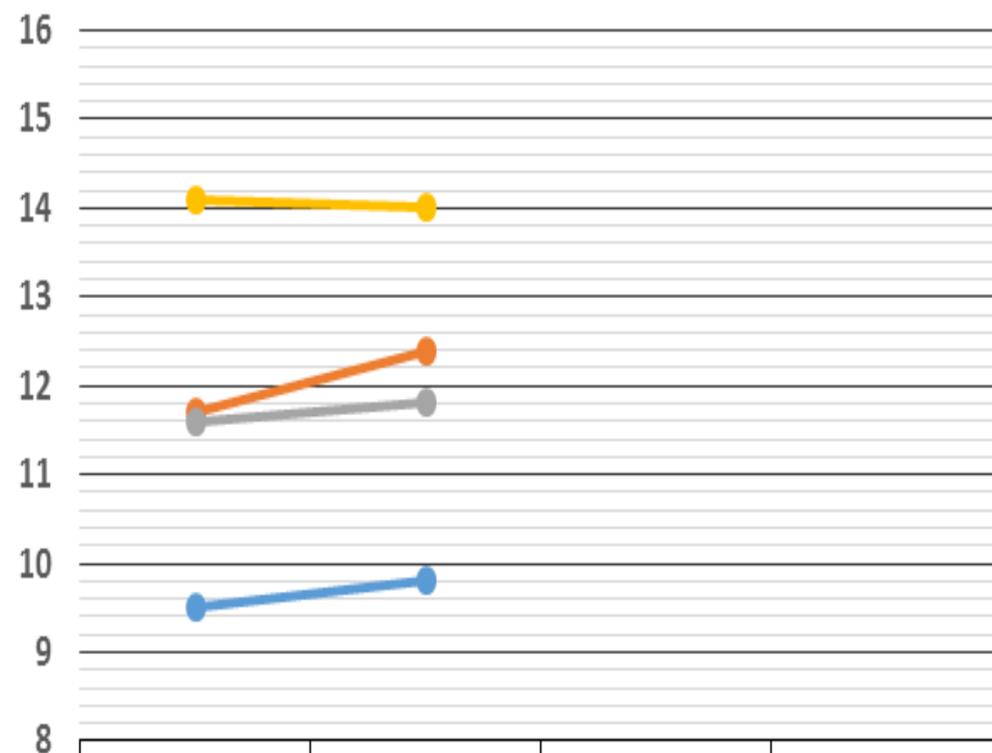
| 児童生徒に育みたい四つの力 | | 質問項目 |
|---------------|----------------------|----------------------------------|
| 学ぶ力 | 意欲的に学び続ける力 | 国語の勉強は好きですか |
| | | 算数（数学）の勉強は好きですか |
| | | 家で、自分で計画を立てて勉強していますか |
| | | 家で、学校の授業の復習をしていますか |
| 切り拓く力 | 目標をもち、未来に向かって努力する力 | 自分にはよいところがあると思いますか |
| | | 将来の夢や目標をもっていますか |
| | | ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか |
| | | 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか |
| 関わる力 | 他者や社会に積極的に関わり、つながる力 | 人が困っているときは、進んで助けますか。 |
| | | 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか |
| | | 今住んでいる地域の行事に参加していますか |
| | | 地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか |
| 自律する力 | 規範意識をもち、自分をコントロールする力 | 朝食を毎日食べていますか |
| | | 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか |
| | | 学校のきまりを守っていますか |
| | | いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか |

小学校(四つの力)



| | H29 | H30 | H31 | H31 |
|---------|------|------|-----|-----|
| ● 学ぶ力 | 10 | 10.9 | | |
| ● 切り拓く力 | 12.5 | 12.6 | | |
| ● 関わる力 | 11.8 | 11.8 | | |
| ● 自律する力 | 13.8 | 14.1 | | |

中学校(四つの力)



| | H29 | H30 | H31 | H31 |
|---------|------|------|-----|-----|
| ● 学ぶ力 | 9.5 | 9.8 | | |
| ● 切り拓く力 | 11.7 | 12.4 | | |
| ● 関わる力 | 11.6 | 11.8 | | |
| ● 自律する力 | 14.1 | 14 | | |

指標②「学力の全体的な向上」

- 全国学力・学習状況調査において、県平均を1として、本市の正答率を換算した数値を指標とする。

指標③「低学力層の児童生徒の減少」

- 全国学力・学習状況調査において、県の正答率が40%以下の児童生徒の割合を算出し、その数値を1として、本市の正答率が40%以下の児童生徒の割合を換算した数値を指標とする。

● 平成30年度の御所市の学力の実態

▶ 改善点

全国学力・学習状況調査（小6・中3）より

- ▶ ○四つの力については、小・中学校ともに伸びが見られる。
- ▶ ○小学校で平成29年度調査に比べ、国語・算数のいずれの問題でも県平均正答率との較差が縮まった。
- ▶ ○小学校40%以下の児童の割合は、小学校では改善傾向にある。

- 平成30年度の御所市の学力の実態

- 課題

- 全国学力・学習状況調査（小6・中3）より

- 課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む力・話し合い活動を通じて、考えを深めたり、広げたりする力が県平均より低い。

- 習得・活用及び探求の学習過程を見通した指導方法の改善や工夫が県平均より低い。

- 小学校で地域との関りが低い傾向にある。

市教委が実施する学力向上に関する総合的な事業

基礎学力向上事業

児童生徒の基礎学力の向上のため、漢字検定や役の小角杯（計算力大会）への受検を補助する。

中学生キャリア教育推進事業

市内の中学生（1年）が一同に会し、講演や進路の説明会に参加することで、目標を持って努力する意識を醸成する。

授業力向上サポーター事業

市内小・中学校の教員から授業力向上サポーターを委嘱し、サポーターによる公開授業や授業づくりの支援を行う。

ICT授業の推進事業

デジタル教科書やeライブラリー、タブレットの導入を推進するとともに、ICT機器を活用した授業を推進するための研修を行う。

夢・誇り・学びプラン推進校授業づくり推進事業

推進校である市内各校が取り組む「子どもの考えが深まる」授業づくりのための取組を支援する。

学力向上フォーラム開催事業

推進校である市内各校の教員が一同に会し、各校の学力向上の取組と成果と課題を共有し、市全体で学力向上に取り組む意識を高める。

優れた授業実践発信事業

推進校である市内各校の教員の優れた授業実践を収集し、その成果を市内各校の教員に広く発信する。



夢・誇り・学びプラン推進校

授業づくり推進事業の取組

御所市葛小中学校

《これまでの取組》

葛小中カリキュラム
葛小の漢字計算
指導方法・家庭学習の統一
授業スタイルの統一
自主学习ノート

前年度までの研究主題

主体的に聞き、自分の言葉で伝えようとする児童・生徒の育成
(2016年度)

～国語科を中心とした「聞く力を高めるための工夫」を通して～
主体的に聞き、自分の言葉で伝えようとする児童・生徒の育成
(2017年度)

～インプットからアウトプットへとつなげる取組を通して～

前年度までの取組の成果と課題

- 聞く（意欲・技能）力が向上
- 自ら課題を設定したり、深めたりすることに課題がある

《2018年度 研究主題》

**主体的に学び、自己を豊かに表現できる
児童・生徒の育成**
～「伝え合い・深め合う」ことを活動の中心
に据えて～

研究主題実現の手だて

◎教員の授業力・指導力の向上と指導法の統一

・教員の平均年齢の若年化・単学級単学年

●職員研修の充実

・互いに授業を気軽に見合う環境

●研究週間の設定

・授業の型の大枠を決める

●授業スタイルの統一

成果と課題

- 基礎・基本的な問題は解けるようになった児童・生徒が増えてきた
- 学習が苦手な生徒でも学習しようとする習慣がついた
- 協同学習の楽しさを実感できるようになってきた
- 研究主題に向けてやっていることが子どもたちにも伝わってきているのではと実感した（子どもたちの振り返りにも「（他の人にも）伝えたい」という言葉がある）
- まだまだ家庭学習をしている生徒の個人差が大きい
- 研究主題の目標達成に向けての教職員のモチベーションには差がある。引き続き研究を行い、教員の授業力向上を図っていきたい



夢・誇り・学びプラン推進校

授業づくり推進事業の取組

御所市立大正中学校

はじめに **—学力の課題—**

- **大正中学校では、これまで『低学力層の子どもたちの学力をどう捉え、どう改善していくのか』という課題に対して、校内授業研修や放課後学習などの取り組みを行ってきた。**



- **本年度、改めて子どもたちの学力の課題は何かを把握し、取り組みをより効果的に行うため、年度当初より「学力分析委員会」を立ち上げ、様々なデータから、大正中学校の子どもたちの学力がどうであるのかを徹底的に分析した。**

『三本の竹』事業

- 『子どもたちの「学力の樹」を育てるために、「学校」「家庭」「地域」が三本の竹となって支えていく。』



「学力の樹」を育てるために・・・

- ①あらゆる角度から学力の分析を行い、課題を明確にする。
- ②その課題を教職員だけでなく、家庭や地域とも共有し、解決に向けた対策を共に考える。

取り組み① 学力分析委員会の設置

- **本年度様々なデータを基に、子どもたちの「勉強の出来」「学力の実態」についての分析を行い、現状と課題を明確にするための「学力分析委員会」を定例化して行うようにしている。**
- **毎週1時間、時間割に組み込んだ定例会議（原則として木曜日の3限目）として、校長、教頭、教務代表、国語・数学・英語の各教科代表が集まって分析を行う。**

取り組み② 教師授業三原則

- 授業の質を高めるために、全教職員が守る原則を文章化し、改めて確認されたもの。

- ①チャイムスタート・・・授業準備に対する意識を高める
- ②明確な指示・・・特に「聴く」ことを意識させる
- ③全員挙手・・・授業に参加していることの意味表示

取り組み③ 「みんなの授業研」の開催

- P T Aや地域の方にも校内授業研を公開し、年間6回「みんなの授業研」として実施している。授業見学はもちろんのこと、その後の研究協議にも入ってもらい、教員とは違う目線で、授業に対する疑問や意見を出してもらえる場としている。
- 学校だけでなく、家庭や地域も一緒になって、子どもたちにとってよりよい授業を考える。

→地域の教育力の向上

取り組み④ 大正「学び力」育成委員会

- **学力分析委員会で分析の結果明らかになった現状や課題を、学校・家庭・地域が共有し、子どもたちの「学び力」を高めていくために、学期に2～3回開催している。**
- **メンバーは校長、教頭、各学年代表、PTA会長、地域の教育関係者、学識経験者で構成。**



取り組み⑤ P T Aの取り組み

- 学校からの発信だけではなく、P T Aからも子どもたちの学力に関わる取り組みを発信している。
 - P T A標語の作成、P T A通信での呼びかけ
 - 各種行事への参加

～各家庭 みんなでやろう これだけは～
《大正中学校P T A 2018》

スマホより やってみようよ 「勉強1時間！」
スマホより 家族で話そう 今日の出来事
スマホより 手伝いをして 家族も笑顔

取り組み⑥ 地域連携

- **通塾率が低い本校の現状を鑑み、放課後学習や土曜学習などを、PTAや地域との連携のもと行っている。**
- **放課後学習
(With Us)**
- **大正土曜塾**
- **3年進路学習会**



取り組みの現状と課題

- **今年度の3年実力テストにおいて、校内平均点と全体平均点との差が少しではあるが縮まってきた。**
- **授業づくりについては、今年度も年間100回を越える授業研を行う予定であるが、さらに教材研究や授業研究を行い、子どもたちの家庭学習につながるような授業づくりを行っていかねばならない。**

御所市学力向上フォーラム

- **研究発表**

御所市葛小中学校

御所市立大正中学校

御所市教育委員会事務局学校教育課

- **実践発表**

「小学校プログラミング教育で育む資質・能力とは」

奈良県 ICT活用教育エバンジェリスト

御所市授業力向上サポーター 大正小学校 中西省吾

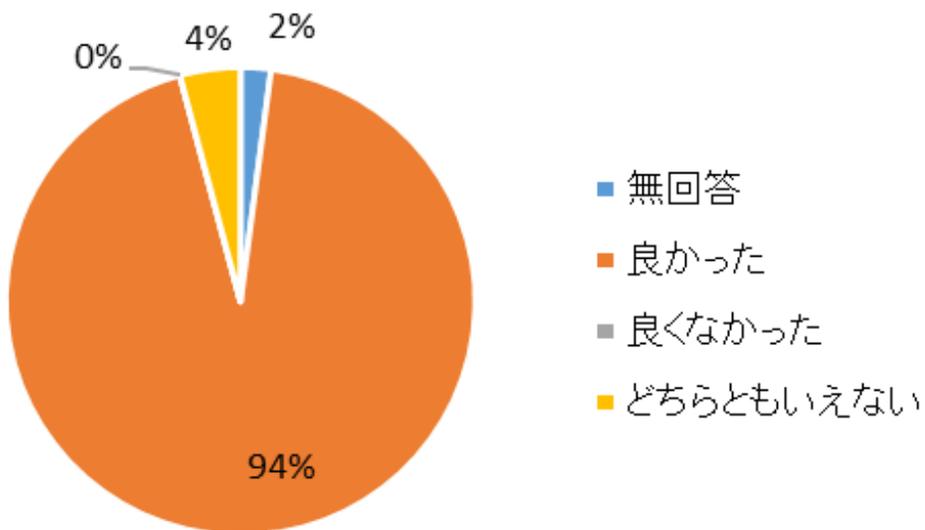
- **講演**

「社会に開かれた教育課程とシティズンシップ教育」

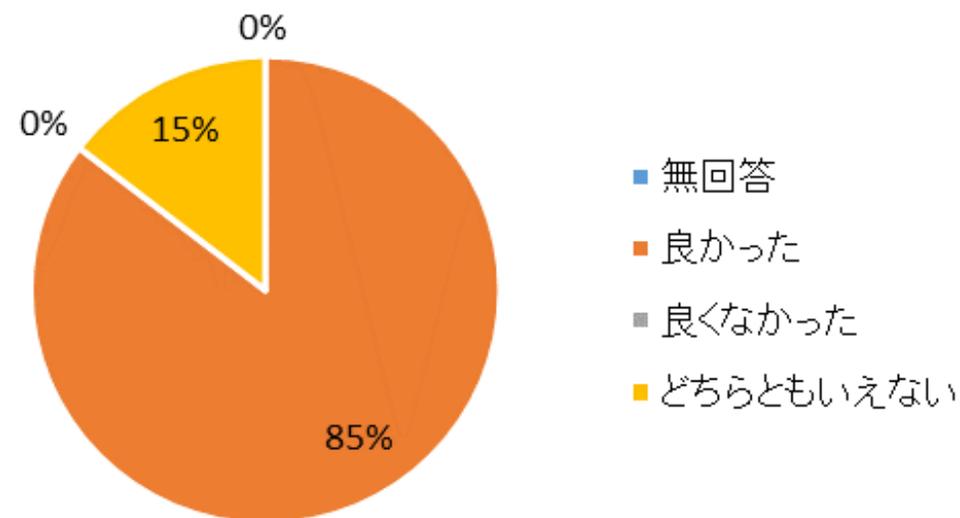
京都教育大学名誉教授・青山学院大学特任教授 水山光春

学力向上フォーラム アンケートより

2. 研究発表(葛小学校・大正中学校・学校教育課)の内容はどうでしたか？

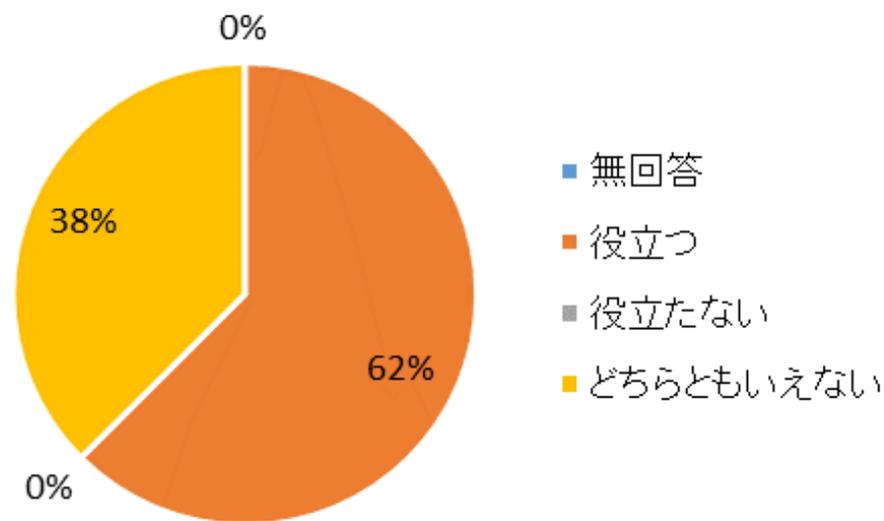


3. 実践発表(大正小学校)の内容はどうでしたか？

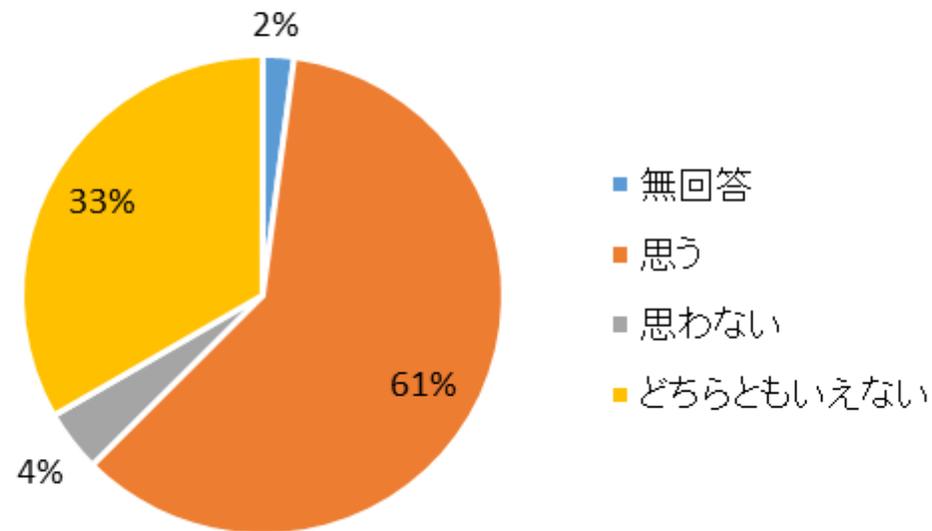


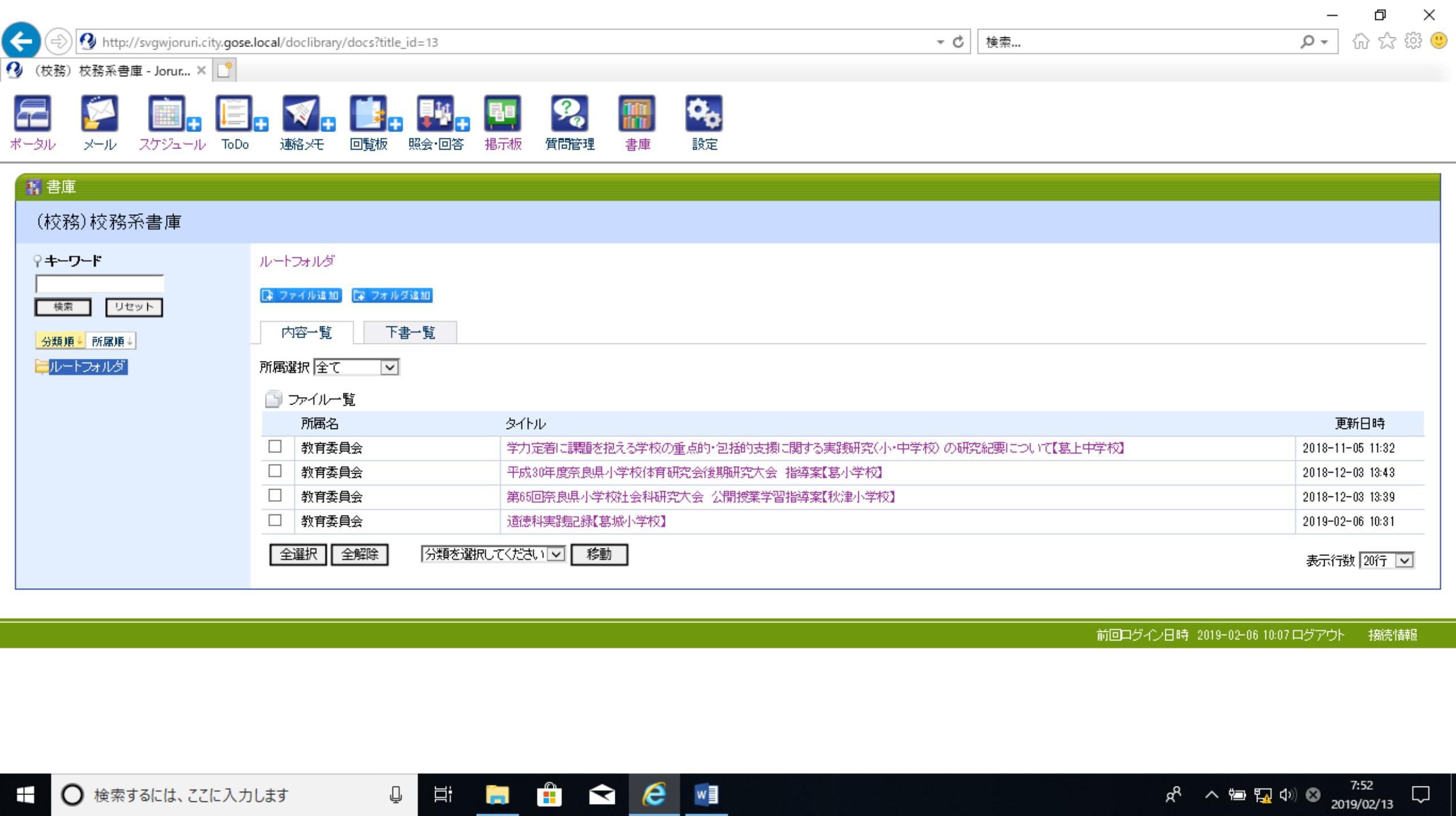
学力向上フォーラム アンケートより

5. 今回のフォーラムは、次年度に向けた取組に役立つと思いますか？



6. このフォーラムの前後で、学力向上に取り組む意識は高まったと思いますか？





- ポータル
- メール
- スケジュール
- ToDo
- 連絡メモ
- 閲覧板
- 照会・回答
- 掲示板
- 質問管理
- 書庫
- 設定

書庫

(校務)校務系書庫

キーワード

検索 リセット

分類順 所属順

ルートフォルダ

ルートフォルダ

ファイル追加 フォルダ追加

内容一覧 下書一覧

所属選択 全て

ファイル一覧

| 所属名 | タイトル | 更新日時 |
|--------------------------------|--|------------------|
| <input type="checkbox"/> 教育委員会 | 学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括的支援に関する実践研究(小・中学校)の研究紀要について【葛上中学校】 | 2018-11-05 11:32 |
| <input type="checkbox"/> 教育委員会 | 平成30年度奈良県小学校体育研究会後期研究大会 指導案【葛小学校】 | 2018-12-03 13:43 |
| <input type="checkbox"/> 教育委員会 | 第65回奈良県小学校社会科研究大会 公開授業学習指導案【秋津小学校】 | 2018-12-03 13:39 |
| <input type="checkbox"/> 教育委員会 | 道徳科実践記録【葛城小学校】 | 2019-02-06 10:31 |

全選択 全解除 分類を選択してください 移動

表示行数 20行

夢・誇り・学びプラン推進担当者会議開催事業

推進校である市内各校の夢・誇り・学びプラン推進担当教員が定期的に集まり、情報交換や研修を行う。

市教委が実施する学力を下支えする事業

家庭学習の定着促進事業

「御所市家庭教育の手引き」を作成し、市内小・中学校の保護者に配布し、家庭での学習の協力を促す。

スクールカウンセラー派遣事業

教育相談体制を充実させるため、臨床心理士を市内小・中学校に派遣する。

スクールソーシャルワーカー派遣事業

不安を抱える児童生徒や家庭を福祉面で支援するため、社会福祉士等を市内小・中学校に派遣する。

適応指導教室開設事業

不登校児童生徒を支援するため、適応指導教室を開設し、学習指導や登校に向けたサポートを行う。

宝物ファイル（TPF）推進事業

児童・生徒の自尊感情を醸成するために、宝物ファイルによるポートフォリオを活用した取組を推進する。

特別支援教育支援員派遣事業

通常学級に在籍する支援を要する児童生徒を支援するため、特別支援教育支援員を市内小・中学校へ派遣する。

特別支援教育 C O 連絡会開催事業

市内各小・中学校の特別支援教育 C O の情報交換と研修を行う。

放課後子ども教室・地域未来塾事業

学校・地域パートナーシップ事業を活用し、市内小・中学校において、大学生や地域の方と協働して学習支援等を行う。

日本語指導支援員派遣事業

外国にルーツを持つ児童・生徒などで日本語指導支援が必要な児童・生徒を支援するため、日本語指導支援員を市内小・中学校へ派遣する。

学校司書派遣事業

児童生徒の豊かな本との出会いをつくり、学びを広げ深めるとともに、読書活動の充実を図るため学校司書を市内小・中学校へ派遣する。

次年度に向けて

本事業による各校及び市教育委員会の取組は5年目を終える。朝学習や補充学習等の充実により、基礎学力の定着に関しては、改善傾向が見られるが、全国学力・学習状況調査の学校質問紙を見ると、習得・活用及び探求の学習過程の工夫や各教科等で身に付けたことを様々な課題の解決にいかしているかについては、県平均を下回り、課題が見られる。

次年度に向けて、推進担当者会議をはじめとした御所市 夢・誇り・学びプランの各事業を通して、とりわけ深い学びの実現に向けた授業改善のための支援を市教育委員会として行っていきたい。